

国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所

記 者 発 表

発 表 日 時

平成29年9月1日

「第18回 にいがたぎちよう 新潟技調講演会」を開催します。

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所(新潟技調)の主催により、「第18回 新潟技調 講演会」を開催します。

北陸の海と空の「みなとづくり」をわかりやく伝え、市民の皆様に港への関心と理解を深めていただくことを目的として、毎年開催しています。

今回は、2019年に開港150周年を迎える新潟港の発展に焦点を当て、「新潟港の繁栄と開港の意義」と題した基調講演を行います。

1. 日時：平成29年9月28日(木) 13:30～15:00

2. 会場：新潟グランドホテル 5階「常磐の間」
新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地

3. プログラム

13:00 開場

13:30 開会

13:35 挨拶 新潟港湾空港技術調査事務所長

13:40 基調講演

「新潟港の繁栄と開港の意義」

新潟市歴史博物館副館長 いとう すけゆき 伊東 祐之 氏

14:40 報告

15:00 閉会

同時記者発表クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
専門紙

(問い合わせ先)
国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所

副所長 いずみ だ ゆたか 泉田 裕
TEL 025-222-6115 FAX 025-227-1205

第18回 新潟技調講演会



明治初期の運上所

(新潟市歴史博物館所蔵)



新潟港への黒船来港の絵

(新潟県立図書館所蔵)



新潟東港 セレブリティ・ミレニアム寄港



新潟東港

日時：平成29年9月28日(木)
会場：新潟グランドホテル 5F「常磐の間」

13:30~15:00
新潟市中央区下大川前通3/町2230番地

基調講演

「新潟港の繁栄と開港の意義」

江戸時代、新潟港は日本海側の拠点港であり、新潟町は港町として地域経済の中心地であった。新潟港はその繁栄の故に開港場に選ばれる。明治期、対外貿易港としての発展はなかったが、以後も国内流通の拠点として機能し、さらに開港地となったことで、新潟町は「県都」として新たな発展を遂げるようになった。本講演では新潟市発展の一基点としての開港について考える。

講師プロフィール

いとう すけゆき

講師：伊東 祐之 氏

略歴：1952年長野県生まれ。新潟市で育ち、新潟大学・東北大学大学院で日本史を学ぶ。1987年から新潟市に勤務し、新潟市史の編集にたずさわる。2001年から新潟市歴史博物館の開設準備を担当し、2004年3月の開館から新潟市歴史博物館学芸課長。2011年から副館長。



プログラム

時間	内容
13:00	開場
13:30	開会
13:35	挨拶 新潟港湾空港技術調査事務所長 笹 昭二
13:40~14:40	基調講演 「新潟港の繁栄と開港の意義」 新潟市歴史博物館副館長 伊東 祐之 氏
14:40~15:00	報告 「棧橋式岸壁における維持管理を考慮した構造（リプレイサブル棧橋上部工）」 新潟港湾空港技術調査事務所 長井 一平
15:00	閉会

申込方法

定員：150名(先着順)
申し込み：FAX・はがき・Mailで裏面の内容をお送りください。
〆 切：9月20日(水)必着
●住所：〒951-8011 新潟市中央区入船町4丁目3778番地
●FAX：025-227-1205
●Mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp
問い合わせ先：新潟港湾空港技術調査事務所 調査課 025-222-6115(代)



新潟港湾空港技術調査事務所の役割 未来へ導く確かな技術

〈未来に向かう技術開発〉

- 港や海岸などの環境を守るための技術開発
- コスト縮減につながる新設計手法の確立
- 港などの構造物保全のための技術開発

〈港の安全のために〉

- 航行安全・海洋環境保全のための作業船の整備
- 安全施工のための技術開発

〈人々の暮らしのために〉

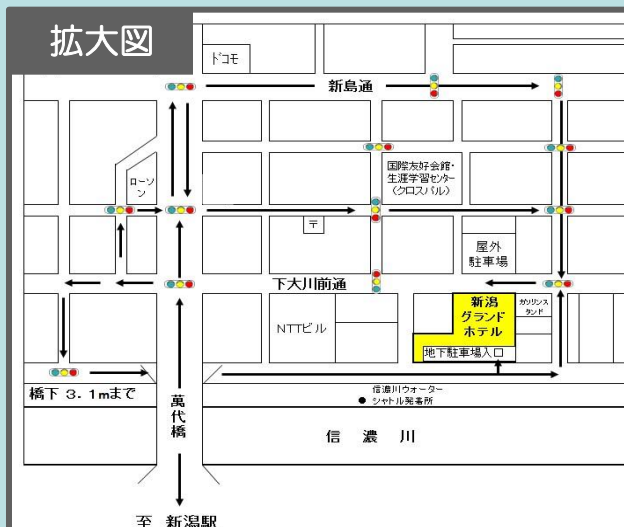
- 人々の暮らしを支える物流拠点となる港などの設計
- だれもが使いやすく、安全で親しまれる公共施設の設計

〈海を知るために〉

- 港の整備に必要な不可欠な波などのデータベースの管理・活用
- 波や港の構造物などに関する調査・実験

会場（新潟グランドホテル）へのアクセス

- ▶ バス：新潟駅万代口よりバスターミナル7番または8番（大人／210円）→「礎町」下車（約5分）、徒歩2分
 - ▶ お車：新潟バイパス 桜木I.Cより約20分
 - ▶ 駐車場：屋外駐車場・地下駐車場 約100台
- 所在地：〒951-0852 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地 TEL：025-228-6111



第18回 新潟技調講演会 申込用紙

下記の事項をFAX・はがき・Mailのいずれかでお送りください。

ふりがな 氏 名	住所または所属会社名	電話番号
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	

（個人情報とは、本講演会の開催目的以外には使用しません。）

FAX：025-227-1205
Mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp